

10.保証規定

- 保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
- 次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
 - 保証書をご提示いただけない場合。
 - 所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 故障の原因が取扱い上の不注意による場合。
 - 故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
 - 天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷の場合。
 - 譲渡や中古販売、オークション、転売などでご購入された場合。
- お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての補償はいたしかねます。
- 本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。

保証書		サンワサプライ株式会社	
型番: 400-PSD067	シリアルナンバー:		
お客様・お名前・ご住所・TEL			
販売店名・住所・TEL			
担当者名			
保証期間 1年		お買い上げ年月日 年 月 日	

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。

サンワサプライ株式会社

ver.1.0

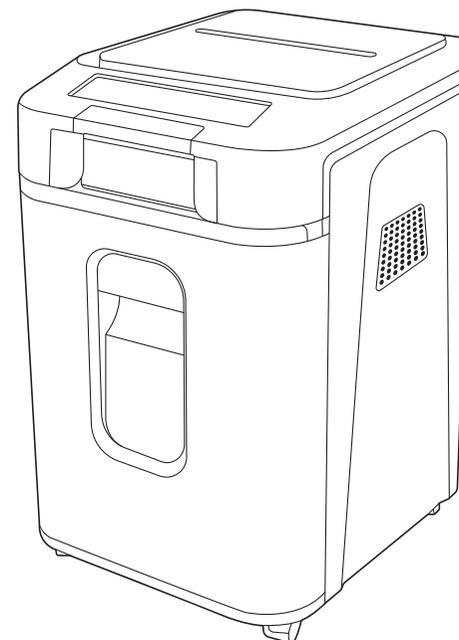
サンワダイレクト / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1 TEL.086-223-5680 FAX.086-235-2381
CD/AH/KIDeAu

SANWA
SUPPLY

400-PSD067

保証書付

オートフィードシュレッダー (260枚 クロスカット) 取扱説明書



この度は、オートフィードシュレッダー(260枚 クロスカット)「**400-PSD067**」(以下本製品)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書では、本製品の使用方法や安全にお取扱いいただくための注意事項を記載しています。ご使用前によくご覧ください。読み終わったあともこの取扱説明書は大切に保管してください。

最初にご確認ください

お使いになる前に、セット内容がすべて揃っているかご確認ください。
万一、足りないものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

セット内容

- ①シュレッダー 1台 ②取扱説明書・保証書(本書) 1部

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがあります。
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

目次

はじめに	P.2	1.本製品ができること 細断能力 主な特長
	P.3	2.安全にお使いいただくためのご注意(必ずお守りください)
	P.5	3.各部の名称とはたらき
基本の使い方	P.9	4.使用上の注意とお願い
	P.10	5 使用方法 準備をする 用紙の細断方法
	P.10	A.オートフィード(自動給紙細断)で細断
	P.13	B.マニュアルフィード(手差投入細断)で細断
	P.15	6 こんなときは 紙詰まりを起こしたとき
必要なとき	P.15	A.オートフィード(自動給紙細断)
	P.16	B.マニュアルフィード(手差投入細断)
	P.17	ダストボックスがいっぱいになったとき
	P.17	7.お手入れ方法
	P.18	8.仕様
	P.18	9.故障かな?と思ったら...
P.19	10.保証規定	

1.本製品ができること

本製品は用紙類および、カードの細断専用機です。

! はがき、OHPシート・新聞紙・カーボン紙・感熱紙・ポリ袋・布・ビニール・フィルムのほか、ラベル用紙・シールなどの糊の付いたものは投入しないでください。

細断能力

紙詰まりなどによる故障を避けるために、下記の条件を必ず守ってください。

	オートフィード(自動給紙細断)		マニュアルフィード(手差投入細断)	
	綴じていないA4用紙	綴じたA4用紙	A4用紙	カード
定格細断枚数※1	260枚	20枚	10枚	1枚
最大枚数(1回)			12枚	
規定素材	A4コピー用紙(64g/m ²) ※はがき、シール、フィルム、OHPシート・ビニール、布などは細断できません。			プラスチック製(厚さ0.2~0.8mm) ※プラスチック製以外は細断されません。
連続運転時間	約60分		約10分	
カットタイプ	クロスカット(4×20mm)			

※1:連続運転時間内において連続して同時に細断できる枚数。

※紙質や湿度等により細断枚数は異なります。

※用紙投入口(A4サイズ)より大きな紙を細断する場合は、投入口より小さい幅に折ってから細断を開始してください。(定格細断枚数を超えないようにしてください。2ツ折/1枚=2枚)
(オートフィード(自動給紙細断)は折りたたんだ用紙は対応していません)

主な特長

オートカットオフ 連続運転を続けたり、用紙がかみこんだ状態で放置すると、自動的に停止します。その際は、主電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜き、そのまま放置してください。約45分後に再び細断が可能になります。	インターロックスイッチ ダストボックスやトップカバーががしっかりと閉じられていない場合(インターロックスイッチが押されていない場合)、安全のため本製品は作動しません。	オートリバース マニュアルフィード(手差投入細断)で定格細断枚数以上の用紙が投入されたとき、自動的にカッターが逆回転して紙を押し戻します。その後、用紙を定格細断枚数以内に細断してください。	オーバーヒートプロテクション 連続運転を続けてモータの温度が上昇した際この機能が働き、モーターが停止し、オーバーヒートによる故障を防ぎます。	静音モデル モーター音は細断中でも約60dB。騒音が気になりにくい静音設計です。
高速細断 細断速度はオートフィード:約9.0m/分、マニュアルフィード:約1.8m/分。オートフィード(自動給紙細断)でA4用紙260枚の細断は、約8.6分で完了します。	ホッチキス&クリップ細断対応 ホッチキスは10号針まで、ゼムクリップは全長32mmまで対応しています。※オートフィードはA4用紙20枚、マニュアルフィードはA4用紙10枚を超える枚数を綴じた書類は入れないでください。	独立型ダストボックス 大容量の約32.2Lダストボックスで、細断ゴミが溜まったら取外して捨てられる独立型です。	オートパワーオフ 20分後に自動的に電源がOFFになります。	

2.安全にお使いいただくためのご注意(必ずお守りください)

この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、様々な表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから、本文をお読みください。

 警告	内容を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
 注意	内容を無視して誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性または財産に損害が発生する可能性がある内容を示しています。
 禁止	行ってはいけない「禁止」行為の内容を示しています。
 指示	「指示」に従って行っていただく強制の内容を示しています。

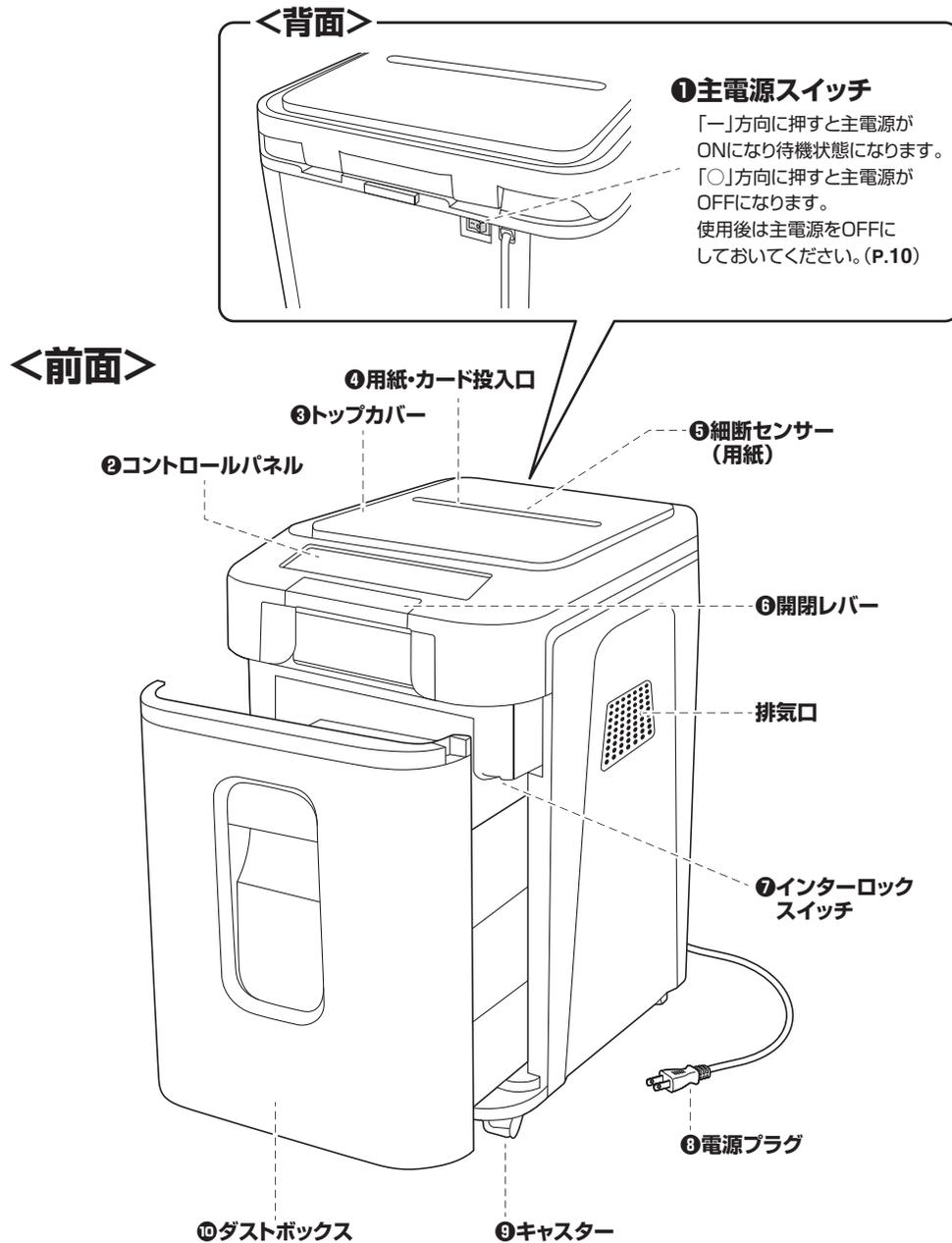
 警告	
 幼児、お子様には絶対に触れさせない。 ケガなどの事故につながる恐れがあります。	 投入口に手や指を入れない。 ケガなどの事故につながる恐れがあります。
 投入口に髪の毛、ネクレスなどを近づけない。 引き込まれてケガなどの事故につながる恐れがあります。	 投入口にネクタイなどの衣類を近づけない。 引き込まれてケガなどの事故につながる恐れがあります。
 可燃性スプレー(エアダスター等)は使用しない。 機械内部やダストボックスにガスが残留し、引火・爆発の恐れがあります。	 投入口をのぞきこまない。 細断ゴミが飛び散り、ケガなどの事故につながる恐れがあります。
 細断物を持ったまま細断しない。 細断物と一緒に引き込まれ、ケガなどの事故につながる恐れがあります。	 分解・修理・改造は絶対にしない。 火災や感電の原因となります。修理は販売店または弊社営業所にご依頼ください。
 高い場所や不安定な場所には設置しない。 転倒して、故障やケガなどの事故につながる恐れがあります。	 本体の上に乗ったり、腰掛けたりしない。 転倒して、故障やケガなどの事故につながる恐れがあります。
 表示された電源・電圧(100V)以外で使用しない。 火災や感電の原因となります。	 高温になる場所や湿気、ホコリが多い場所に設置しない。 火災や感電の原因となります。

 警告	
 異常な状態(発煙・異臭など)のまま使用しない。 火災や感電の原因となります。主電源をOFFにして、電源プラグを抜いてから、販売店または弊社営業所にご相談ください。	 調理台や加湿器の近くなど、油煙や湿気が多い場所に設置しない。また、水をかけない。 火災や感電の原因となります。
 本体が転倒、落下などにより破損した場合は使用を中止する。 火災や感電の原因となります。販売店または弊社営業所まで修理をご依頼ください。	 異物(金属・水など)が入った場合は電源を切り、電源プラグを抜く。 火災や感電の原因となります。販売店または弊社営業所まで修理をご依頼ください。
 電源コード・プラグが破損するようなことはしない。 ・電源コードの上にものを乗せない。 ・加工したり、傷つけたりしない。 ・無理に曲げたり、ねじったりしない。 ・無理に引っ張らない。 ・熱器具に近づけない。加熱しない。 ・水に濡らさない。 火災や感電の原因となります。	 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む。 火災や感電の原因となります。
	 電源プラグを抜く時は電源コードを引っ張らない。 ショートして火災や感電の原因となります。
	 電源スイッチを中途半端な位置で止めない。 火災や感電の原因となります。

 注意	
 ぬれた手で電源プラグにさわらない。 感電やケガの原因となります。	 長時間使用しない時は、電源プラグを抜く。 漏電や火災の原因となります。
 お手入れ・点検の際や細断ゴミの廃棄時は、電源プラグを抜く。 感電やケガの原因となります。	 移動させる際は、電源プラグを抜く。 電源コードが傷つき、火災や感電の原因となります。
 本体の上にものを置かない。 倒れたり、落下してケガの原因となります。また誤作動、故障の原因となります。	 直射日光のあたる場所に設置しない。 誤作動、故障の原因となります。
 ダストボックスが満杯の状態では逆回転させない。 誤作動、故障の原因となります。	 クリップなどの金具は取除く。 本製品はホッチキスの針や小さなクリップを細断できますが、長くご使用いただくために、クリップなどはあらかじめ取除くことをおすすめします。
 必ず定格細断枚数、規定素材、連続運転時間を守る。(P.2) 誤作動、故障の原因となります。	

3.各部の名称とはたらき

シュレッダー 本体



②コントロールパネル

タッチ式で操作します。
電源をON・OFFしたり、
エラー状況がわかる警告LEDがあります。

コントロールパネル 詳細→P.7

③トップカバー

開閉レバーの操作で開けて、オートフィード
(自動給紙細断)で細断する用紙をセットします。
トップカバーが開いたままだと
細断は開始されません。

トップカバー 内部→P.8

④用紙・カード投入口

細断する用紙を投入します。
細断能力に対応した細断物を投入してください。(P.2)
カードを入れる際は投入口の中央に投入して
ください。(中央にセンサーがあります)
オートフィード(自動給紙細断)中は
同時に使用できません。

⑤細断センサー

用紙が通過するとカッターが正回転作動し、
細断を開始します。
細断センサーの前を通過するように
用紙を投入してください。

⑥開閉レバー

持ち上げてトップカバーを開けられます。
万一の場合は、トップカバーを開けて
細断を緊急停止させてください。

⑦インターロックスイッチ

ダストボックスを閉めることにより、インター
ロックスイッチが押された状態になります。
ダストボックスがしっかりと閉じられていない
場合(インターロックスイッチが押されていない
場合)は、安全のため本製品は作動しません。

⑧電源プラグ

必ず家庭用AC100Vのコンセントに
直接接続して使用してください。
タコ足配線は避けてください。
タップや延長コードを使用しないでください。
(P.10)

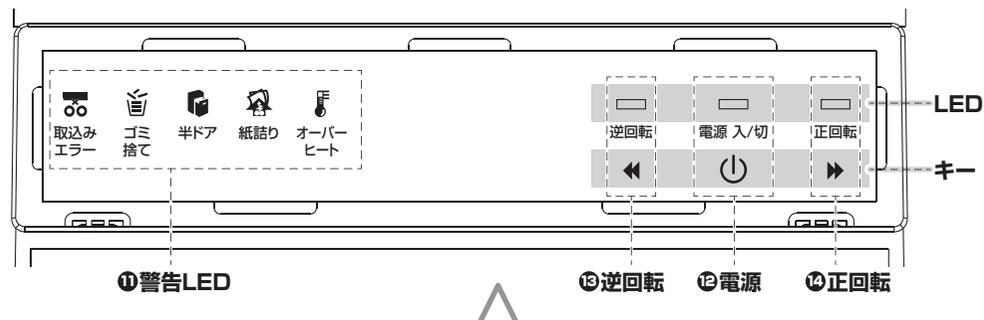
⑨キャスター

前2輪はロック付きです。
操作中は絶対に動かさないでください。

⑩ダストボックス

細断ゴミを収容します。
廃棄する際は引き出して細断ゴミを取出します。
各地方自治体の法令に従って分別し、
廃棄してください。
細断ゴミは溜まりすぎないようにこまめに
取出してください。(P.17)

②コントロールパネル 詳細(上から見た図)



⑪警告LED

点灯中は安全のため、本製品は作動しません。

取込みエラー 自動給紙トレイの紙が取込みエラーが起こった場合に点灯します。紙詰まりをした際と同じ対処方法で解決できます。(P.15～)

ゴミ捨て 細断ゴミがダストボックスにいっぱいになると点灯します。細断ゴミを取除いてください。(P.17)

半ドア トップカバー、ダストボックスが正しく閉められていない場合に点灯します。最後までしっかり閉めてください。

紙詰り 細断物が詰まった場合、投入口に細断物が残っている場合に点灯します。詰まった細断物を取除いてください。(P.15～)

オーバーヒート 細断作業が続き、モーターの温度が上昇した場合に点灯します。点灯した場合は約45分休止してください。

⑫電源

電源キーをタッチするたびに電源がON・OFFになります。

【電源LED】

- 青色点灯：電源ON時(使用可能な状態)
- 消灯：電源OFF

⑬逆回転

電源ONの状態ですべて逆回転キーをタッチしている間だけ、カッターが正転とは逆方向に作動します。紙詰まりの際などに使用します。停止後は自動モードになります。

【逆回転LED】

青色点灯：カッターが逆方向に作動中

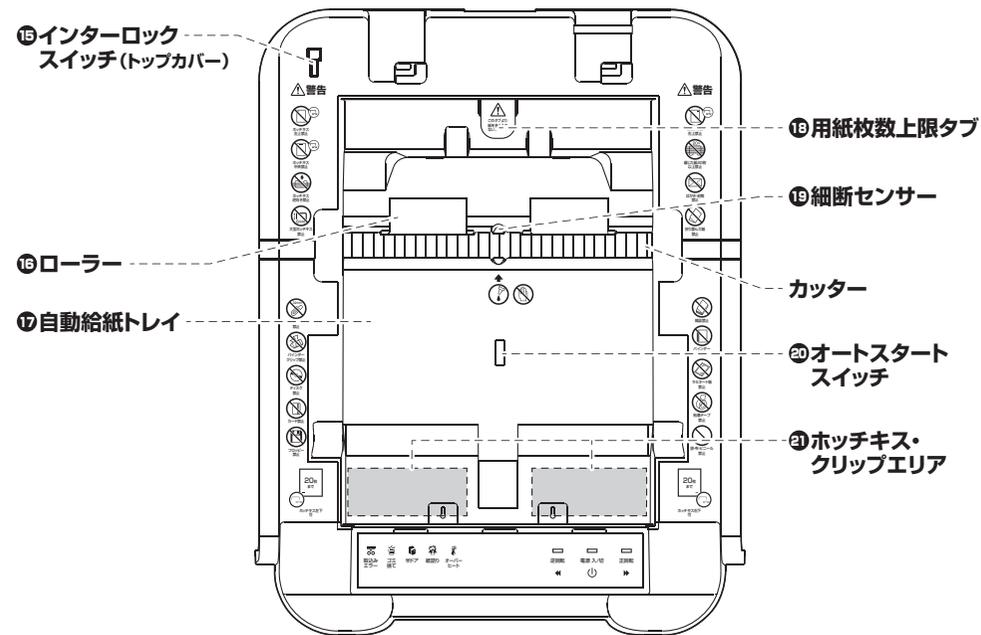
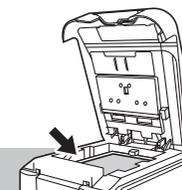
⑭正回転

電源ONの状態ですべて正回転キーをタッチしている間だけ、カッターが正転に作動します。停止後は自動モードになります。

【正回転LED】

青色点灯：カッターが作動中

③トップカバー 内部(開けて上から見た図)



⑮インターロックスイッチ(トップカバー)

トップカバーを閉めることにより、インターロックスイッチが押された状態になります。トップカバーがしっかりと閉じられていない場合(インターロックスイッチが押されていない場合は、安全のため本製品は作動しません。

⑯ローラー

自動給紙トレイにセットした用紙を取込みます。

⑰自動給紙トレイ

オートフィード(自動給紙細断)で細断するA4用紙をセットします。(P.10～)
マニュアルフィード(手差投入細断)は同時に使用できません。

⑱用紙枚数上限タブ

自動給紙トレイにセットするA4用紙枚数の高さの目安です。用紙枚数上限タブの下に差込みきれない場合は、細断容量がオーバーしています。枚数を減らしてセットしてください。

⑲細断センサー

細断物が通過するとカッターが正回転作動し、細断を開始します。細断センサーの前を通過するように細断物を投入してください。

⑳オートスタートスイッチ

自動給紙トレイにセットした用紙を感知します。

㉑ホットキス・クリップエリア

ホットキスの針・クリップがついている書類は金具部分がこのエリア内に入るようにセットしてください。

4. 使用上の注意とお願い



投入口にネクタイなどの衣類を近づけない。
引き込まれてケガなどの事故につながる恐れがあります。



分解、修理、改造をしないでください。
感電やケガをすることがあります。



使用前、使用後に異物が混入していないかご確認ください。



インターロックスイッチに手を触れないでください。



インターロックスイッチの周囲をきれいに保ってください。



対応物以外のものは入れないでください。
金属や衣類は、カッターに損傷をあたえ、故障の原因となります。



湿った紙やカーボン紙、シールのついた用紙は入れないでください。
カッターに細断ゴミがからまり、細断性能を低下させます。



必要以上に逆回転させないでください。
細断ゴミが投入口に溜まり、故障の原因となります。



使用後は必ず主電源をOFFにして、コンセントから電源プラグを抜いてください。



ダストボックス・トップカバーがしっかり閉まっていない状態では、安全装置により本製品は作動しません。

重要



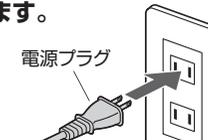
必ず定格細断枚数、規定素材、連続運転時間を守ってご使用ください。(P.2)

モーターを傷めたり、故障の原因となります。

5 使用方法

準備をする

1 電源プラグをコンセント(AC100V)に差し込みます。



2 主電源スイッチをONにします。
「-」方向に押し主電源をONにしてください。



- 必ずコンセントに近く、電源プラグを容易に取外しできる場所に設置してください。
- 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
- 電源プラグとコンセントの間にタップなどを使用しないでください。
タコ足配線などで定格を越えると、発熱して火災の原因になります。

用紙の細断方法

用紙の細断方法は2種類あります。

- A. オートフィード(自動給紙細断) → P.10~
- B. マニュアルフィード(手差投入細断) → P.13

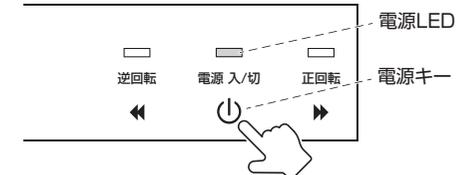
A. オートフィード(自動給紙細断)で細断

用紙をセットするだけで、自動給紙されて一度に最大260枚を約8.6分で細断できます。

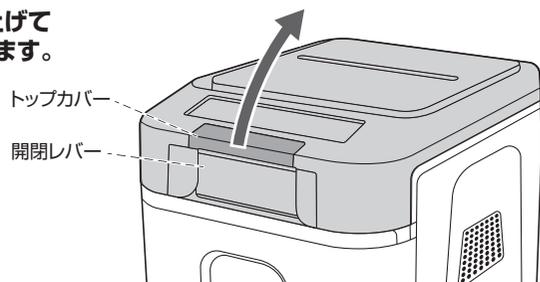
オートフィード(自動給紙細断)で細断できないもの



1 電源キーをタッチして電源をONにします。 <コントロールパネル(上から見た図)>
電源LEDが青色点灯します。



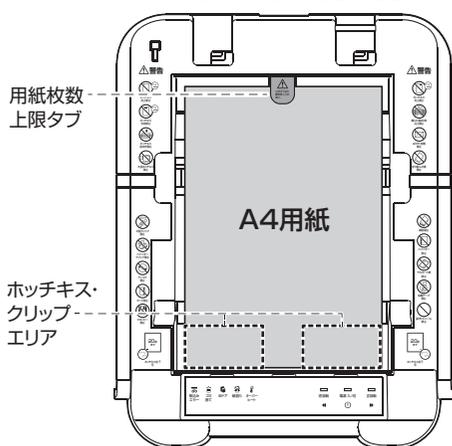
2 開閉レバーを持ち上げて トップカバーを開けます。



3 自動給紙トレイに細断する用紙をセットします。

用紙の端を自動給紙トレイの手前にそろえ、平らになるようにセットしてください。

<トップカバー内部(上から見た図)>



用紙をセットするときの注意事項

❌ ホッチキスの針の間隙を上向きにしてセットしたり、大型ホッチキスを投入しないでください。



ホッチキスの向きに注意し、6mm以上の大型ホッチキスは投入しないでください。

❌ ホッチキス・クリップエリアにホッチキスの針、クリップが入るようにセットしてください。



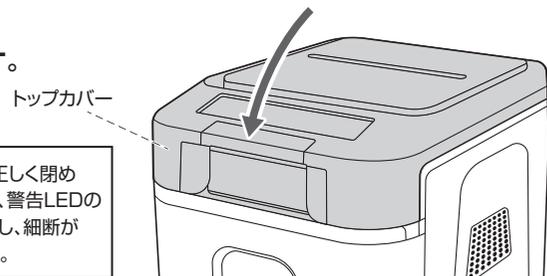
ホッチキスの針・クリップで綴じた書類は金具部分がホッチキス・クリップエリア内に入るように、向きに注意してセットしてください。



注意

- 定格細断枚数以上セットしないでください。
- A4サイズより小さい用紙はA4サイズの用紙の間に挟んでください。
- 用紙が用紙枚数上限タブを超えないように注意してください。
- マニュアルフィード(手差投入細断)と同時使用はしないでください。
- カード類は細断できません。
マニュアルフィード(手差投入細断)で細断してください。(P.14)

4 トップカバーを閉めます。 細断が自動で開始されます。



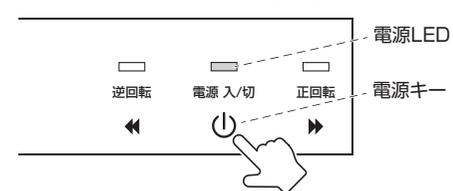
注意

トップカバーが正しく閉められていないと、警告LEDの「半ドア」が点灯し、細断が開始されません。

5 細断が終わったらカッターが停止します。

電源キーをタッチして電源をOFFにしてください。
電源LEDが消灯します。

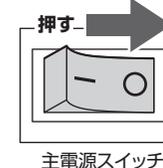
<コントロールパネル(上から見た図)>



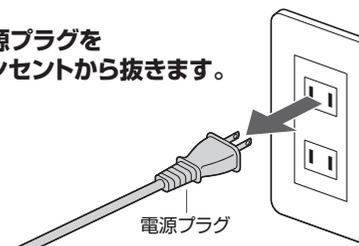
6 主電源スイッチをOFFにします。

「O」方向に押し主電源をOFFにしてください。

<背面>



7 電源プラグを コンセントから抜きます。



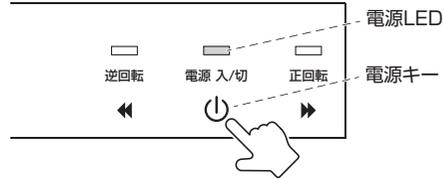
B. マニュアルフィード(手差投入細断)で細断

用紙・カード投入口に手で用紙やカードを投入して細断することができます。

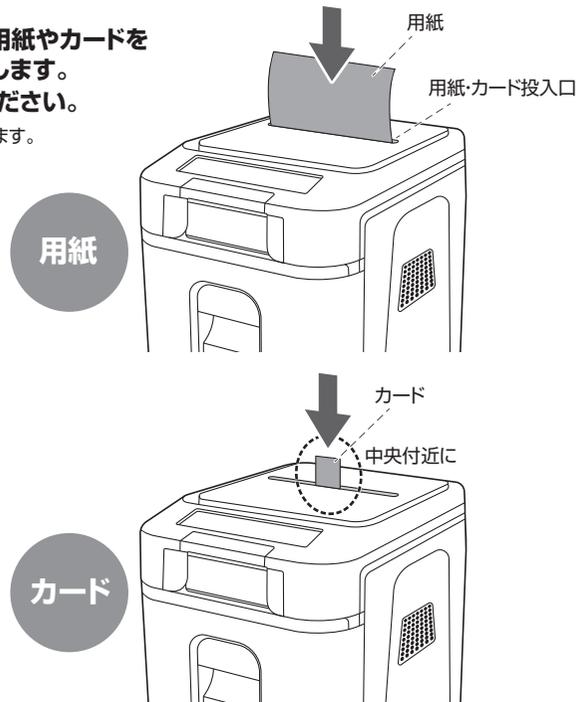
マニュアルフィード(自動給紙細断)で細断できないもの



- 1** 電源キーをタッチして電源をONにします。 <コントロールパネル(上から見た図)>
電源LEDが青色点灯します。



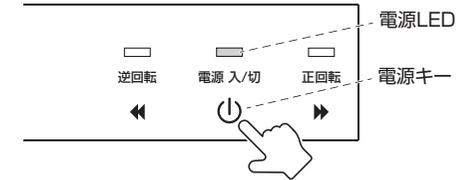
- 2** 用紙・カード投入口に細断する用紙やカードをまっすぐに入れ、すぐに手を離します。カードは中央付近に投入してください。
細断物が通過し終わるとカッターが停止します。



⚠ 注意

- 用紙・カード投入口にある細断センサーが感知できるように、まっすぐ入れてください。
- カードは中央付近に入れないとセンサーが感知できません。
- 定格細断枚数を超えないでください。
- 用紙の幅が投入口よりも広い用紙を折りたたんで投入する場合、紙厚が増しますので、その分一度に細断できる枚数が減ります。
- 定格細断枚数より多い用紙の投入で故障する場合は、保証期間内であっても有償期間修理になりますのであらかじめご注意ください。
- 自動給紙トレイとの同時使用はしないでください。
- 細断された用紙とカードは同じダストボックスに溜まります。分別して捨てる場合は細断する種類ごとに細断物を取除き、ダストボックスを空にしてください。(P.17)

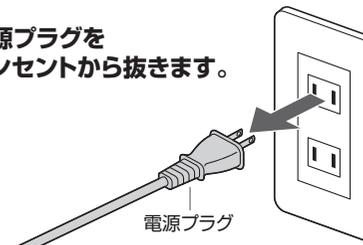
- 3** 細断が終わったらカッターが停止します。 <コントロールパネル(上から見た図)>
電源キーをタッチして電源をOFFにしてください。
電源LEDが消灯します。



- 4** 主電源スイッチをOFFにします。
「○」方向に押し主電源をOFFにしてください。



- 5** 電源プラグをコンセントから抜きます。



6 こんなときは

紙詰まりを起こしたとき

ご使用状況により紙詰まりが起きると、紙詰まりの警告LEDが点灯し、カッターの回転が止まります。

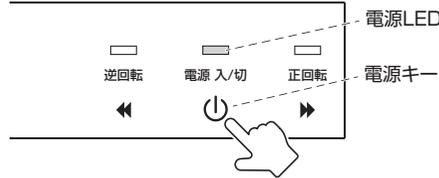


- 頻繁に正回転・逆回転を繰り返さないでください。
- 紙詰まりを起こしたままの状態では置かないでください。
※モーターに負担がかかり、故障の原因になります。

A.オートフィード(自動給紙細断)

- 1** 電源キーをタッチして電源をOFFにします。
電源LEDが消灯します。

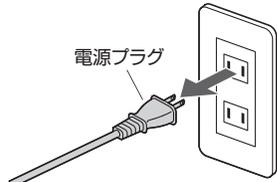
<コントロールパネル(上から見た図)>



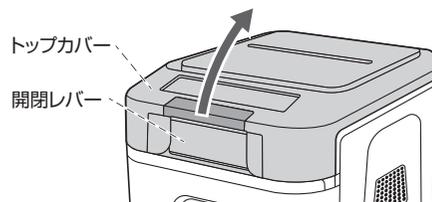
- 2** 主電源スイッチをOFFにします。
「○」方向に押し主電源をOFFにしてください。



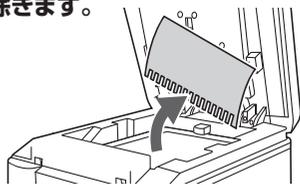
- 3** 電源プラグをコンセントから抜きます。



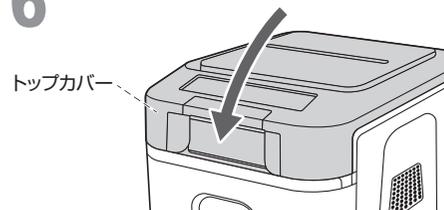
- 4** 開閉レバーを持ち上げて
トップカバーを開けます。



- 5** 詰まった用紙などをできる限り
取除きます。



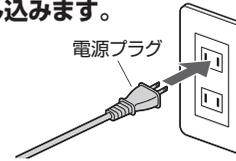
- 6** トップカバーを閉めます。



注意 カッターに触れてケガをしないようにご注意ください。

注意 トップカバーが正しく閉められていないと、警告LEDの「半ドア」が点灯し、作動しません。

- 7** 電源プラグをコンセント(AC100V)に差し込みます。

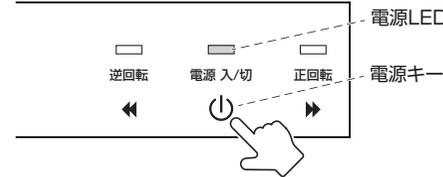


- 8** 主電源スイッチをONにします。
「-」方向に押し主電源をONにしてください。



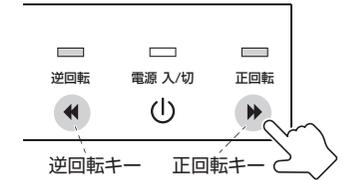
- 9** 電源キーをタッチして電源をONにします。
電源LEDが青色点灯します。

<コントロールパネル(上から見た図)>



- 10** 正常に動作するまで逆回転キー、正回転キーを交互にタッチしてカッターを動かします。

<コントロールパネル>



- 11** 紙詰まり警告LEDが消灯したら、
用紙を自動給紙トレイに入れて再び細断を開始してください。(P.10)

注意 細断能力に対応した細断物を投入してください。(P.2)

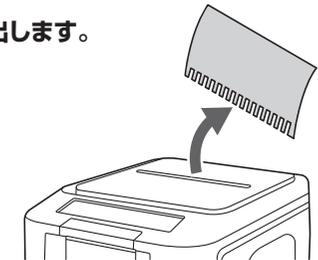


紙詰り

B.マニュアルフィード(手差投入細断)

- 1** 逆回転キーをタッチして詰まった用紙を引き出します。

<コントロールパネル>



注意 逆回転の際、以前細断した用紙が出てくる場合がありますが、製品の異常ではありません。

- 2** 紙詰まり警告LEDが消灯したら、
再び細断を開始してください。(P.13)

注意 細断能力に対応した細断物を投入してください。(P.2)



紙詰り

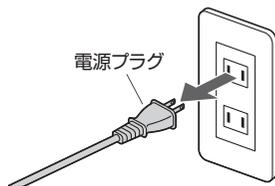
ダストボックスがいっぱいになったとき

ダストボックスが細断ゴミでいっぱいになると、ゴミ捨てる警告LEDが点灯し、カッターの回転が止まります。

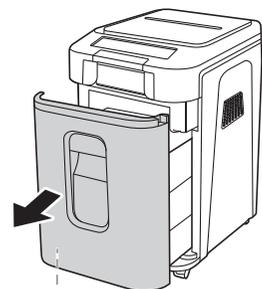
- 1 主電源スイッチをOFFにします。**
「○」方向に押し主電源をOFFにしてください。



- 2 電源プラグをコンセントから抜きます。**

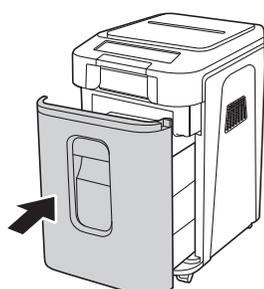


- 3 ダストボックスを開けて
細断ゴミを捨てます。**



ダストボックス

- 4 ダストボックスを閉めます。**



注意

- インターロックスイッチを押す突起部などを破損しないように丁寧に取扱ってください。
- 各地方自治体の法令に従って分別し、廃棄してください。



注意

ダストボックスがしっかり閉まっていないと半ドアの警告LEDが点灯し、安全のため本製品は作動しません。

7.お手入れ方法

本製品の外側の汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。

汚れがひどい時は、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。



注意

- お手入れの際は、主電源スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
- 感電やケガをすることがあります。
- ガソリン・ベンジン・シンナー・磨き粉などでは絶対に拭かないでください。
- ひびわれ、変形、変色、故障の原因となります。

8.仕様

細断物	A4コピー用紙、カード	投入幅	220mm
細断形状	4×20mm クロスカット		
定格細断枚数*1	A4用紙(オートフィード)/260枚、A4用紙(マニュアルフィード)/10枚、カード/1枚		
最大細断枚数(1回)	A4用紙(マニュアルフィード)/10枚		
細断速度	オートフィード:約9.0m/分、マニュアルフィード:1.8m/分		
連続使用時間	オートフィード/約60分、マニュアルフィード/約10分 ※45分休止後再運転可		
モーター音	空回り/約52dB、細断中/約60dB	電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	300W	ダストボックス容量	約32.2L
サイズ・重量	W356×D466×H580mm・約15.7kg		

※1:連続運転時間内において連続して同時に細断できる枚数。

※紙質や湿度等により細断枚数は異なります。



本製品はカードを細断することにより、一般のドライブ装置などで読取りを不可能にするものであり、データを完全に破壊するものではありません。特殊な手段により読取られる可能性がありますので、高度な機密と判断されるデータを含むものには使用しないでください。データを不正読取りされた場合の損害に対し、弊社は製品故障の如何を問わず一切の責任を負いません。

9.故障かな?と思ったら...



注意

点検の際は、主電源スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。感電やケガをすることがあります。

状況	調べるところ	直し方
動かない	電源プラグが正しくコンセントに入っていますか?	電源プラグを正しくコンセント(AC100V)に入れ直してください。(P.10)
	主電源スイッチがOFFになっていませんか?	主電源スイッチを「-」方向に押し電源ONにしてください。(P.10)
	細断物が投入口の細断センサーを通過していますか?	それぞれの投入口にある細断センサーが感知できるようにまっすぐに投入してください。(P.5・P.8)
	ダストボックス、トップカバーがしっかりと閉まっていますか?	しっかり閉まっていないと安全装置が働き作動しません。最後まできちんと閉めてください。
細断中に止まった または 細断できない	紙詰まりを起こしていませんか?	逆回転ボタンを押し、詰まった用紙を取除いてください。(P.15~)
	長時間の使用により、オートカットオフ機能が働いていませんか?	連続運転を続けたり、用紙がかみこんだ状態で放置すると、自動的に停止します。その際は、主電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜き、そのまま放置してください。約45分後に再び細断が可能になります。
	用紙を多く入れすぎていませんか?	定められた枚数以下にして細断してください。(P.2)
	投入口の幅より大きな用紙を入れていませんか?	投入幅口の幅より小さな用紙で細断を行ってください。
	投入口に細断物が斜めに入られていますか?	投入口に細断物を、それぞれの投入方法に合わせてまっすぐに入れてください。(P.10~)
	クリップ・ピンなどをかみこんでいませんか?	一度逆回転させた後、主電源をOFFにして、電源プラグを抜き、本体を逆さまにするなどして取除いてください。

※点検後、なお異常がある場合は販売店までご連絡ください。